

●国鉄赤谷線跡地遊歩道のカンナについて

Q.

数年前から旧国鉄赤谷線跡地遊歩道にカンナが植えられ、市民の目の保養になっています。場所は、五十公野の元「ふじくら食堂」沿いの公衆便所を挟んだ場所です。花の期間が長く、散歩やサイクリングをする市民の中には、歩を止めて観賞や撮影する方もいます。私も毎年花が咲くのを楽しみにしているひとりです。20日にカンナのそばを散歩で通りかかったところ、10人ほどがカンナの球根掘りをしていたので声をかけたところ、地元農家組合が路肩除草のついでにカンナを植えているとのことで、労力も資材もすべてボランティアであることがわかりびっくりしました。近年の農家は米の需要が減り、米価が下落しているのに資材までボランティアとは頭が下がる思いでした。そこで余計な口出しかもしれませんが、堆肥・防草シートの留め具などの援助はできないのでしょうか。この先も毎年カンナの花を楽しみにしている市民は多いものと思われ、途絶えさせないためにもご検討をお願いいたします。

(令和3年11月受付)

A.

当該道路の管理担当課に状況を確認するよう指示したところ、地元農家組合が主体となった共同活動により、農地の保全や良好な景観形成など、農業地域の保全管理の一環として、毎年「カンナ」の植栽に取り組んでいるとの報告を受けたとあります。

この取組は、農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るために国、県、市が一体となって費用を支援する多面的機能支払交付金制度を活用した地元の共同活動ということで、必要な人件費や資機材は、この交付金制度を通じて支援させていただいております。

是非、この交付金制度を活用いただきながら「カンナ」の植栽を継続されることを願うところであり、市民の皆様の目を楽しませられることはもとより、農業地域を更に盛り上げていってほしいと感じております。

(令和3年12月7日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。

●小便小僧の台部分のタイル張りのデザインについて

Q.

小便小僧の台部分は、かつてはもう少し高く、白いタイルが貼ってありましたが、美的でない黒カビがいつも張り付いているので、新しくタイルを貼ってほしい。台部分のタイル貼りについては、工夫してレインボーカラーのタイルを貼ってほしい。観光客と一緒に写真を撮りたくなるようにデザインしてほしい。また、小便小僧の由来を書いた立て看板を設置し、啓蒙してほしい。
(令和3年11月受付)

A.

小便小僧は、昭和53年に寄贈された当時から台座にタイルは貼られておらず、表面をザラザラと石風に見せる洗い出し加工をほどこしたものでありました。担当課に状況確認を指示したところ、台座の損傷は見受けられないが、年数の経過とともに表面の黒ずみが顕著であることや、地元や地域の皆様から台座のリニューアルに関する声はあがっていないとの報告を受けたところであります。

しかしながら、小便小僧は新道・掛蔵のシンボルでもありますことから、ご提案を貴重なご意見と受け止め地元や地域の皆様の声を聞きながら気運の高まりを見たいと考えておりますので、まずは寄贈された形の小便小僧をしっかりと維持管理に努めるよう指示をさせていただきました。

次に、小便小僧の由来を記した看板の設置についてです。昨今は、インターネット等の普及により情報収集には事欠かない情報社会でありますことから、由来を記した看板の設置は現時点では考えておりませんが、先に述べましたとおり地元や地域の皆様の気運の高まりを見てまいりたいということをご理解いただきたいと存じます。

(令和3年12月10日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。

●除雪作業について

Q.

昨年は三角公園のまわりの除雪につきまして大変ありがとうございました。今年も除雪のこと
よろしくをお願いします。

今年の除雪もためないですぐに雪捨て場に持って行ってほしい。今秋は七十五日バエが11月
5日に出現したので、今年の根雪は75日後の1月下旬になりそうですが、もしドカ雪が降った
ときはよろしくお願い申し上げます。

(令和3年11月受付)

A.

小便小僧がある三角公園のまわりに置いた除雪後の雪は、その都度、直ちに排雪するよう担当
課に指示しているところでありましたので、今冬も継続してしっかりと対応するよう、改めて指
示いたしました。昨冬のような次から次へと休みなく雪が降り続く日もありますことから、緊急
的又は一時的に除雪後の雪を置きますことについて、ご理解をお願いいたします。

(令和3年12月20日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。